学習内容報告書 フォーマット

学校名	八戸市立島守小学校
授業者	全学級担任

1.　単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1.　単元名

八戸の美味しい海の幸は島守の野山が支えている

1-2.　学年

全学年

1-3.　教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活科・総合的な学習

1-4.　単元の概要

八戸沖で捕れる海の幸は、学校前を流れる新井田川（通称：鷹ノ巣川）が海まで運ぶ豊富な植物プランクトンを食べて成長していることから、八戸沿岸で捕れた海産物を実際に食べてその美味しさを体験する。

そうすることで改めて島守の野山を大切にすることの意義を考える。

1-5.　単元設定の理由・ねらい

新井田川の上流域の盆地とそれを囲む山々で成る島守地区は山村的性格の強い地域である。耕地は盆地の水田や山間のわき水を利用した沢田が帯状に散在しており、台丘の比較的緩い斜面には畑が開け山林と交錯している。

このような環境で育った本校児童にとって海はとても遠い存在である。しかし、自分たちの住む地域から新井田川を伝わって流れ出た植物性プランクトンが八戸沖に住む海洋生物のえさとなりやがて海の恵みとなり食べ物は勿論、漁業従事者の生活も支えているということにまで及んで考えることができる。

1-6.　育みたい資質や能力、態度

（知識・技能）

・課題について横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して獲得する知識や技能

（思考力・判断力・表現力等）

・探究的な学習を通して身に付ける課題を見出し解決する力

（学びに向かう力、人間性等）

・主体的な探究活動の経験を自信につなげ、次の課題へ進んで取り組もうとする態度を育てる。

・協働的な探究活動の経験を実社会・実生活への興味・関心へとつなげ、進んで地域の活動に参加しようとする態度を育てる。

1-7.　単元の展開（全２７時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
3	○ホッキガイをおいしく食べよう（５・６年） ・ホッキガイの漁について学ぶ。 ・捕れたてのホッキガイの殻を剥く。 ・ホッキガイ料理を作る（バター炒め） ・全校でホッキガイ料理を食べる。 ・各自ホッキガイを持ち帰り親子で調理する。	○大久喜生産部会池田さんからホッキガイ漁や殻剥きの仕方や料理の仕方を教わる 評：・ホッキガイに興味・関心をもち、その美味しさを味わうとともに、島守の川と関連付けて考えているか。
5	○おいしいウニを食べよう（全校） ・大久喜小学校と一緒に活動する。 ・大久喜漁港でウニ漁に出る船を見学する。 ・ウニの殻剥き体験をする。 ・剥いたウニを生ウニ丼にして全校で食べる ・大久喜小学校の皆さんと交流する	○大久喜生産部会・法師浜生産部会が準備してくれたウニで教えてもらいながら殻剥き体験をする。 評：・ウニに興味・関心をもち、その美味しさを味わい島守の川と関連付けて考えているか。 ・海のそばの学校の児童と交流ができたか
5	○親子で地引網体験をしよう（全校） ・昔ながらの地引網漁についてお話を聴く ・親子で協力して網を引き手ごたえを体感する ・獲れた魚をみんなで分ける ・魚をそれぞれ持ち帰り各家庭で食べる	○深川商会の深川さんから地引網漁についてのお話を聴く。（簡単な歴史、地引網漁の際の注意点等） 評：・昔からの漁法に興味・関心をもち、親子で協力して漁ができたか。 ・捕れた魚を触ったりつかんだりできたか。
2	○鯨の特別展を見学に行こう　（５・６年） ・南郷歴史民俗資料館見学 ・特別展：クジラの村～山から海へ出た男たち ・なぜ南郷は「鯨の村」と呼ばれたのか ・南郷、八戸と鯨の歴史について学ぶ	○南郷歴史民俗資料館の学芸員の方から展示資料の説明を聞いたり、鯨についての資料を見学したりして南郷と鯨の関わり合いについて学習する。 評：・南郷と鯨は昔から深いかかわりがあることを理解することができたか。
6	○大久喜小学校の皆さんと交流会をしよう （３・４年） ・島守小学校のことについて伝える。 ・島守に伝わる伝説を紙芝居にして伝える。 ・総合的な時間で調べたことを伝える。 ・大久喜小学校の皆さんから海の学習を聞く。	○大久喜小学校の３・４年生に島守小学校の様子や総合的な学習で調べたこと等を伝えたり、大久喜小学校の皆さんから海の学習について聞いたりする。 評：・山の学校と海の学校との交流でそれぞれの特徴や思いなどを知ることができたか。
6	○大久喜小学校の皆さんと交流会をしよう （１・２年） ・島守小学校のことについて伝える。 ・生活科の時間で調べたことを伝える。 ・大久喜小学校の皆さんから学校の様子や海の学習について聞く。	○大久喜小学校の１・２年生に島守小学校の様子や生活科の時間で調べたこと等を伝えたり、大久喜小学校の皆さんから海の学習について聞いたりする。 評：・山の学校と海の学校との交流でそれぞれの特徴や思いなどを知ることができたか。

2.　学習活動の実際

2-1.　単元における位置づけ

単元　２７　時間中の　１～３　時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目　/ 単元 15 時間中の 4,5 時間目

2-2.　本時の目標

八戸沖で獲れる海の幸は、学校前を流れる新井田川（通称：鷹ノ巣川）が海まで運ぶ豊富な植物プランクトンを食べて成長し美味しく育つ。本時はホッキガイ漁師の池田さんに来ていただき、ホッキガイ漁の漁法やホッキガイが大きく育つ条件などをお話していただいた後で殻剥き体験をし、美味しく料理する方法まで教えて頂く。美味しいホッキガイを食べることでその味には島守の森が深く関わっていることを知る。

2-3.　本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
【１時間目】 ○ホッキガイはどこでどのようにして獲れるのでしょうか。（獲れる場所、獲り方、貝の特徴など） ・実際に漁をしている時の写真や地図を見る ・具体的に解説してもらう ・実際にホッキガイを手に取って観察する	○ホッキ漁の様子の写真や実際に漁をする漁船の写真を用意して臨場感が伝わるようにする。 ○ホッキガイが美味しくなるのは､栄養豊富な水が海に流れ込むからということを漁師さんに説明してもらう。 （評）・ホッキガイ漁について知ることができた ・自分たちの森が美味しいホッキガイを育てていることに気付くことができたか
【２・３時間目】 ○ホッキガイを剥いて美味しいバター炒めを作りましょう。 ・どのようにして料理するか手順の説明を聞く ・殻を剥く時の注意 ・上手に貝から剥くためのコツ ・一人で５～６個の貝を剥く	○ホッキガイの剥き方のコツを説明してもらう ○美味しいホッキガイ料理の作りを分かりやすく説明してもらう
○できたホッキガイ料理を他の学年の子ども達にも味わってもらおう ・出来上がったホッキガイ料理を他の学年にも配る	
○ホッキガイ料理を美味しくいただく ・この美味しいホッキガイがどのように育ったか考えながら食べる ○講師の先生にしっかりとお礼をする	（評）・説明をよく聞いて上手にホッキガイを剥いて美味しいホッキガイ料理をつくることができたか ・美味しいホッキガイを食べながら、島守の森のその美味しいホッキガイを育ていることを関係づけて考えることができているか

2-4.　単元における位置づけ

単元　２７　時間中の　４～８　時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目　/ 単元 15 時間中の 4,5 時間目

2-5.　本時の目標

八戸沖で獲れる海の幸は、学校前を流れる新井田川（通称：鷹ノ巣川）が海まで運ぶ豊富な植物プランクトンを食べて成長し美味しく育つ。本時は実際に八戸市内でもウニ漁で有名な大久喜に行き、大久喜・法師浜漁業生産部会の皆さんからウニ漁の漁法やウニが大きく育つ条件などをお話していただいたりウニ漁を行う漁船を近くで見せて頂いたりした後で大久喜小学校の児童たちと一緒にウニの殻剥き体験をし、美味しくウニを食べることでその味には島守の森が深く関わっていることを知る。

2-6.　本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
【１時間目】 〇ウニはどこでどのようにして獲れるのでしょうか。（獲れる場所、獲り方、ウニの特徴など） ・実際に漁出る漁船を見る ・具体的に解説してもらう ・実際にウニを手に取って観察する	〇ウニ漁で実際に漁をする漁船を近くで見せてもらい、より具体的にウニ漁が伝わるようにする。 〇ウニが美味しくなるのは､栄養豊富な水が海に流れ込むからということを漁師さんに説明してもらう。 （評）・ウニ漁について知ることができた ・自分たちの森が美味しいウニを育てていることに気付くことができたか
【２・３・４時間目】 〇ウニの殻剥き体験をしましょう。 ・どのようにして料理するか手順の説明を聞く ・殻を剥く時の注意 ・上手に殻から剥くためのコツ ・大久喜小学校の皆さんから教えてもらいながら剥く 【５時間目】 〇殻から剥いたウニと持参したご飯で生ウニ丼にして味わおう ・生ウニ丼を美味しくうただく ・この美味しいウニがどのように育ったか考えながら食べる 〇講師の先生や大久喜小学校の皆さんにしっかりとお礼をする	〇ウニの殻の剥き方のコツを説明してもらう 〇大久喜小学校の皆さんにおしえてもらいながら一緒にウニをきれいに剥く （評）・説明をよく聞いて上手にウニを剥いて美味しい生ウニ丼をつくることができたか ・美味しい生ウニ丼を食べながら、島守の森がその美味しいウニを育てていることを関係づけて考えることができているか

3.　今回の活動の自己評価

海になじみがない山の学校における海洋教育プログラムは大変有意義なものであった。 海は遠い存在と考えている本校児童にとって、実は山の栄養が海の生き物たちを支えているということを知り、さらには美味しい海産物を食べることで、海と山は実は関係が深いことを実感することができた。 また、このプログラムを通じて大久喜小学校という海の学校の子ども達とも知り合うことができたことも大きな財産になった。互いに生活科や総合的な学習で調べたことを発表し合い、それまで全く知らなかったことに触れ合うことで、互いの世界観が広がり、双方にとって良かったと思っている。 また、コロナウイルス感染症の感染防止の観点等から、今回の単元計画で計画したプログラムがいくつか実行できなかったが、その分の予算で海に関する書籍を購入させていただいたこともとても有意義な事であった。図書室に「海のコーナー」を設置し、今後もいつでも海の調べ学習ができるようにすることができた。 「大久喜小学校との交流」「図書室に海のコーナー」など思わぬ副産物ができたことにとても感謝している。今後も有効に活用していきたい。

4.　今後の課題

せっかくできた「山と海との交流」や「海のために山を守ることの大切さ」などが薄れていかないように子ども達に発信し続けていくことが大切であると考えている。 このプログラムを体験した子ども達がやがて大人となり、「生まれ育った島守の自然を守ることは海を守ること」という思いを代々受け継いでいくようにしていくことが今後の課題である。

5.　本学習内容報告書活用にあたっての留意点

本来であれば、「八戸市の港を海から見てみよう（４時間)」「八戸前沖サバを美味しく食べよう（４時間)」の８時間を入れて全部で３５時間の単元構成となる予定だったが、コロナ禍と八戸前沖サバの不漁が重なり上記の学習を実施することができなかった。そのために計上していた予算で「海に関する書籍」を購入させていただき、本校図書室に「海のコーナー」を設けて今後も海に関する調べ学習ができるように有効活用させていただいた。 また、本学習の副産物として思わぬところで大久喜小学校の皆さんとの交流をすることができた。交流会の中で「これまで取り組んできた海洋教育について発表しよう」も兼ねて実施した。 以上のことを留意していただいた上で活用していただきたい。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。